

2024年度 甲南大学大学院 入試問題

区分	研究科	専攻	試験科目	試験時間	試験日
修士一般 (1次募集)	社会科学 研究科	経済学専攻 税理コース	専門 (租税法)	60分	2023年9月2日

以下に示されている【問題1】と【問題2】のいずれか1題を選択して解答すること。

1 租税法の基本原則について述べて下さい。なお地方税に関する原則には言及しなくてよい。

2 以下の事例問題について、設問の指示に従い解答して下さい。

【事案の概要】

内国法人の甲社は、3月決算法人であるが、令和5年3月期において、その有する大型トラック（譲渡契約時の時価1千万円、未償却残高5百万円）を、内国法人である乙社（甲の子会社）に、帳簿上の簿価である未償却残高5百万円で譲渡した。

甲社はこの譲渡取引につき（借）現金預金 5百万 （貸）車両運搬具 5百万として、経理処理を行い、当該事業年度の法人税申告を行った。

その後、甲社は所轄税務署の税務調査の結果、上記令和5年3月期の乙社への当該大型トラック（車両運搬具）の譲渡について、更正処分を受けた。

（設問）

甲社の行った当該車両運搬具の譲渡に係る処理は、法人税法上の正しい処理として認められるか。所轄税務署長が行った更正処分について、処分理由となった法人税法上の根拠規定を示した上で、当該条文の解釈・適用関係について説明して下さい。